

# 令和7年度 学校関係者評価報告書

令和8年3月23日  
ユービック情報専門学校  
学校評価委員会

## I. 経過

### 第1回学校評価委員会

令和7年7月24日開催

- ・会長選出
- ・今年度の学校計画と現状について
- ・学校運営、教育活動の説明

### 第2回学校評価委員会

令和7年10月29日開催

- ・学校経営計画の中間報告
- ・9月27日実施の授業アンケート結果の説明

### 第3回学校評価委員会

令和8年3月23日開催

- ・委員会の最終評価と目標に対する自己評価
- ・2月9日実施の授業アンケート結果の説明

## II. 関係者評価報告

### 1. 自己評価について

おおむね良好であり、妥当な評価と思われる。一部評価の低い箇所があるが、小規模校という特色がある中で、それぞれの目標に向かってしっかりと教育活動に取り組まれていることが伺える。また、アンケートの結果から、多少の変化はあるが、日頃から先生方が丁寧な教科指導を行い、学生の実態把握に努めながら、「寄り添う指導」を実践していることは評価できる。

- 「(1) 教育理念・目標 各学科の教育目標、育成人財像は学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか」においては、

日頃の授業だけでなく、地域社会との連携や校外への施設見学など様々な取り組みを計画し、実施した。特に、ビジネス系コースの学生が「綾部市との観光交流プロジェクト」を展開しており、観光協会と連携し、地元商店街イベントや学生成果発表会で物産販売等を行った。

また、「GAMO4 BAKERY PAO」プロジェクトでは、「特定非営利活動法人 燦然会 × ユービック情報専門学校」のコラボレーションプロジェクトで、新メニューの開発などコラボレーションプロジェクトに取り組んだ。

さらに、地元商店街のイベントでは、IT系コースの学生が自作ゲームを展示し、地域の方々

に披露することにより、コミュニケーション力の向上や学校の知名度アップにつなげることができた。

このような地域社会と実際に連携した取り組みによって、学生のコミュニケーション力や企画力の向上など、教育効果があったと思われる。

- 「(3) 教育活動 キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか」においては、

卒業後すぐに実社会に出ていく社会人を育成するという専門学校で、就職セミナーや企業説明会、インターシップをカリキュラム上に位置づけて実施していることについては、キャリア教育等の観点において効果があり、評価したい。

- 「(3) 教育活動 「資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるのか」においては、

円滑な指導体制を整備し、系統的なカリキュラムを通して、学生の能力向上を図った。特に、より高度な各種資格試験での挑戦を通して、第1種電気工事士試験において6名、基本情報技術者試験において3名が合格したことは評価できる。

- 「(4) 学生支援 「高校・高等学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか」においては、

本校への理解を深める上でも有益であると思われるため、系列校を含め、今後充実させる必要がある。

- 「(5) 学生支援 「学生相談に関する支援体制は整備されているか」においては、

学習活動や特別活動など、学校規模に合わせて、きめ細かな指導を実践している。教員が学習活動や特別活動など、学校規模に合わせて、きめ細かな指導を実践していることが伺える。単位制課程を導入しても、寄り添う指導については継続して欲しい。

### III. その他について

#### 1. 入学者の増加について

今年度の広報活動においては、新たなイベントの実施、オープンキャンパスの内容の特色化、SNSの積極的な活用によるタイムリーな情報提供、学校訪問や出前授業等のPR活動を行ってきたが少子化の影響も受け、入学者は27名に留まった。年度当初の目標(45名)の達成には至らなかったため、今後も受験生や保護者のニーズを踏まえた上で、より一層効果的な広報活動を行う必要がある。

## 2. 学習成果発表会「UBIK Fes2025」について

- 1年間の学習成果を発表する成果発表会が、今年も1月31日に実施した。今年度は保護者・卒業生をはじめ、高校生、就職先企業、地域住民等、107名の来場者があり、学生が積極的に行事に取り組んでいる様子を外部に発信することはできている。
- IT系・ビジネス系・医療系・電気系の各コースの代表者が、自分のコースの学習内容や当発表会の内容について、プレゼンテーションを行ったことは、大変良い取り組みと思われる。
- 「電気工事士技能競技大会」では、多くの学生・保護者、企業担当者が、熱心に見学・応援される中で、表彰することは、自己肯定感と自己有用感の高揚や、学習意欲の向上につながったと思われる。